

病者さまと心臓病センター榊原病院をつなぐ

病院NOW

2017年
第76号
4月
2017年4月1日発行
(年4回発行)



開設85周年を迎える

あなたに寄り添う 安全でおいしい食事

春を感じさせるよう色彩豊かに、うす味でもおいしくお召し上がりいただけるよう、旬の食材の繊細な味と香りを活かして調理しています。ご入院中の病者さまにとって、お食事が「安全」(食材は国産のみ使用)、「癒し」や「楽しみ」の時間となりますように。

昼食お祝い料理



4月1日昼食お祝い料理

- エネルギー 469 kcal
- 塩分 1.8g
- たんぱく質 26.3g
- 主食量 150g

- ①赤飯
 - ②鯛の塩麴焼き
 - ③茶碗蒸し
 - ④彩りなます
 - ⑤果物
- 当院は4月1日開設85周年を迎えます。当日の昼食時にご入院の病者さま全員にお祝い料理を提供します。

高谷浩(前調理科長、元日本料理店料理長)の協力を得て、調理科長 西江智章(元日本料理店料理長)、藤本純也(フランス料理経験者)、小林諭(イタリア料理経験者)が心を込めて作ります

春の彩り膳



春の彩り膳の1例

- エネルギー 567 kcal
 - 塩分 1.9g
 - たんぱく質 27.2g
 - 主食量 150g
- ①彩りいなり寿司と四海巻き
 - ②うすいえんどうの翡翠煮
 - ③春キャベツの白和え
 - ④筍の木の芽天ぷら
 - ⑤三色砵巻き
 - ⑥鯛の潮仕立て
 - ⑦季節の果物盛り合わせ

夕食 1食あたり プラス **550円**(税込)
※1日から利用可能
※特室は無料

ご利用には別途追加料金が必要ですがお申し込み・ご質問は、看護師へお申し付けください

これまでの85年、これからの85年

理事長 榎原 敬



1932年4月1日故榎原亨が外科榎原病院を開設しました。このとき、「本院は営利を目的とした世俗の病院にあらず、実際に迂遠なる学説研究の病院にもあらず」といい、病気に苦しむ方々を救うために持てる医療技術を役立てる方針を示しています。1936年12月16日には岡山中央郵便局建築工事現場で発生した匕首(あいくち)による心臓外傷(刺傷)に対し、綿紗点絡止血術(当時は糸を通す針の部分が大きく結紮しても血液が漏れるため、ガーゼを巻き付けて圧迫止血を行った)に成功(世界初)しました。被害者は戦争にも出征し、加害者(刺した男)も重罪を免れ、2人の男の命が救われました。1941年には自ら発明した心臓鏡下に僧帽弁閉鎖不全症の手術(世界初)を行い、我が国の心臓外科の発展に大きく寄与しました。残念ながら1945年6月29日の岡山大空襲(死者1734名)では、岡山城とともに病院も焼失しました。「我が国の心臓外科の黎明の歴史は、榎原病院の歴史と重なる」といわれてきたことは大変な名

誉であり、光栄に存じます。

戦後は丸の内で心臓病センター榎原病院としての歩みを進め、2012年には現在の中井町に移転、許可病床数297床、ハイブリッド手術室やヘリポート、室内プールを備えた最新鋭の病院になりました。低侵襲(体に負担の少ない)治療を推進し、小切開の心臓外科手術やTAVI(経カテーテル的大動脈弁置換術)など先進的な治療に取り組んでいます。定期手術だけでなく、ドクターヘリやドクターカーを活用して虚血性心疾患・大動脈瘤破裂など緊急手術にも力を入れています。365日24時間心臓大血管疾患の中四国の救急の砦として、2016年は心臓血管外科手術674例・循環器内科冠血管ステント治療1203例と全国レベルの診療実績をあげることができました。2017年4月1日85周年を迎えるにあたり、これまで地域の方々から数多くのご支援を賜り、また関係者の御協力ならびに病院職員の奮闘の賜物と厚く感謝申し上げます。

このように全国屈指の診療実績と

ともに心臓大血管の専門病院としての高い評価はありがたいことであり、同時に職員の高誇りとなっています。これからの85年を考えると、心臓血管疾患を中心に新しい技術の導入をはじめ、しっかりと時代のニーズに合ったサービスを提供していきたいと考えています。高齢化社会を迎え、さまざまな病気を併せ持つ方が増えています。心臓大血管疾患、それに関連した末梢血管、糖尿病、消化管疾患、眼科疾患などの疾患のニーズに応えること、そして生活習慣病の予防(食生活の改善/減塩・低脂肪・禁煙や運動/メデイカルフィットネスなど)、また病気になる場合には診断治療からリハビリ(社会復帰・在宅支援・心不全予防)に至るまで、救急を含めしっかりと必要とされる医療サービスを提供したいと存じます。今後とも病客さまに寄り添う心とともに、連携する医療機関の先生方と力を合わせて地域医療に貢献してまいります。

わたくしたちの誇り

院長 岡崎 悟

本年4月、榎原病院は開設85周年を迎えました。これまでの長い年月を私たちは心臓病の診療一筋に進めてきました。お陰さまで「心臓病なら榎原」といつただけることが何よりの誇りと思っております。例えば81年前、創立者榎原亨が心臓外傷の手術に挑み、見事に助けることができたことから、当院の心臓病治療の歴史が始まりそ

して、わが国の心臓外科の歴史が開かれました。その後、常に時代の最先端で最新の心臓病診療を求め続けた結果、多くの方々の信頼を得て「心臓病なら榎原」というブランドができたのだと思っております。先人たちの熱意と努力、多くの方々のご指導、ご支援に感謝したいと思います。もうひとつ、当院の心臓・血管外科

手術や冠動脈ステント治療の実績は全国でもトップレベルにあり、中でも、体に負担の少ない低侵襲手術(肋間小切開手術、ステントグラフト留置、TAVIなど)をいち早く取り入れ、良い結果を出していることも大きな誇りです。岡山という地方都市でこれだけの実績を上げられるのは、立派な設備が整っていることはもちろんですが、優秀な医師や医療スタッフがそろっており、「心臓病の最後の砦」という熱い思いで一丸となって日夜励んでいるから

こそで、チームワークの良さとフットワークの良さも誇つてよいと思っております。

これからは、この85年間につくり上げてきた伝統をさらに磨き上げ、ブランド力を高めて新たな時代に向かい前進しなければならぬと思っております。それがお世話になった地域の方々への恩返しになると思えます。今後ともご指導、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

専門職が支える病院

85年前、当院創設当時、職員は医師3名、薬剤師1名、十数名の看護職員、それに数名の有資格・無資格の医療補助職員であったとの記録が残されています。その後、医療の進歩・発展に応じ、専門化・高度化が進み、今日、多くの資格のある専門職の職員によって、この病院は支えられ、最新・最高の医療を提供できる病院となりました。これからも進化していく医療に即応した病院でありたいと思っております。この機会にこの病院を支えている職員を紹介させていただきます。

医師 52名 (非常勤医を除く)
心臓大血管疾患を中心に関連領域を診療しています。各診療科には専門医が常勤し、安全で質の高い医療の提供を行います。

心臓血管外科 16名

- 心臓血管外科修練指導医 5名
- 心臓血管外科専門医 9名
- 日本外科学会指導医 5名
- 日本外科学会専門医 11名
- 日本胸外科学会指導医 1名
- 日本胸外科学会指導医 4名
- スタントグラフト指導医(胸部) 4名
- スタントグラフト指導医(腹部) 4名
- 認定植込型補助人工心臓実施医 1名
- 日本循環器学会専門医 4名

- AHA・BLS・ACLSコースディレクター 1名
- ICD、CRT研修履修者 1名
- インフュージョンコントロールドクター認定医 1名
- 大阪大学招聘教授 1名
- 下肢静脈瘤血管内レーザー焼灼術実施医 1名
- 下肢静脈瘤血管内レーザー焼灼術指導医 1名
- 胸部大動脈瘤スタントグラフト実施医 2名
- 厚生労働省臨床研修指導医 1名
- 日本医師会認定健康スポーツ医 1名
- 日本移植学会移植認定医 1名
- 日本血管外科学会認定血管内治療医 2名
- 日本体育協会認定スポーツドクター 1名
- 日本脈管学会認定脈管専門医 1名
- 腹部大動脈瘤スタントグラフト実施医 4名

専門職が支える病院

・皮膚・排泄ケア認定看護師	1名
・糖尿病看護認定看護師	3名
・皮膚・排泄ケア認定看護師	1名
・認知症看護認定看護師	1名
・インターベンションエキスパートナース	7名
・日本糖尿病療養指導士	11名
・第1種消化器内視鏡技師	4名
・NST専門療法士	1名
・心臓リハビリテーション指導士	2名
・6学会合同認定透析療法指導看護師	1名
・AHABLSインストラクター	5名
・ICLSBLSインストラクター	2名
・ケアマネージャー	5名
・フットケア指導士	1名
・リスクマネージャ	14名
・医療安全管理者	3名
・医療安全推進者	1名
・実習指導者	12名
・救急救命士	1名
・血管診療技師	1名
・呼吸療法認定士	19名
・人工腎臓装置講習会修了者	1名
・第2種ME技術実力検定合格者	3名
・糖尿病重症化予防(フットケア)研修修了者	4名
・透析液安全管理責任者	1名
・透析技術認定士	4名
・日本腹膜透析医学会指導看護師	1名
・日本アフェレンス学会認定技士	1名

・日本医科器械学会第2種滅菌技士	1名
・認定看護管理者サードレベル	2名
・認定看護管理者セカンドレベル	5名
・認定看護管理者ファーストレベル	7名
・保健師	38名
・弾力ストッキング・コンダクター	5名

薬剤師 18名

薬品の専門職で、処方せんに基づく調剤、用法・用量・相互作用などの確認や説明、服薬指導を行います。

・感染制御認定薬剤師	1名
・NST専門療法士	1名
・日本糖尿病療養指導士	1名
・日本病院薬剤師会の研修認定薬剤師	3名
・日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師	6名
・認定実務実習指導薬剤師	3名

診療放射線技師 20名

エックス線、CTなど放射線を使用する検査や磁場を用いたMRI検査など、画像検査を行います。

・血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定	1名
・専門診療放射線技師認定	1名
・マスター放射線技師	2名
・シニア放射線技師	5名
・Ai認定診療放射線技師	5名
・X線CT認定技師	3名
・胃がん検診専門技師認定	2名

・医用画像情報管理士	6名
・作業環境測定士1種	14名
・放射線管理士	16名
・放射線機器管理士	16名

臨床検査技師 35名

血液検査や心電図検査、超音波検査などを行い、検査結果を臨床へ報告します。

・超音波検査士	13名
・血管診療技師	8名
・日本糖尿病療養指導士	4名
・NST専門療法士	1名
・緊急臨床検査士	3名
・第2種ME技術実力検定合格者	1名
・2級臨床病理技術士(呼吸生理学)	1名
・2級臨床検査士資格認定証	1名
・認定一般検査技師	1名
・認定認知症領域検査技師	1名

臨床工学技士 22名

人工呼吸器や人工心臓、血液透析装置、心臓へスルーカーなど生命維持装置を操作します。

・体外循環技術認定士	6名
・心臓インターベンション技士	2名
・IBHRE Cardiac Rhythm Device Therapy 検定試験	1名
・不整脈治療専門臨床工学技士	1名
・透析技術認定士	6名
・人工透析研修修了者	1名

専門職が支える病院

・米国医師免許	1名
・麻酔科標榜医	2名

循環器内科 21名

・日本循環器学会専門医	12名
・日本内科学会指導医	2名
・日本内科学会総合内科専門医	4名
・日本内科学会認定医	2名
・不整脈専門医	2名
・ICD、CRT研修履修者	1名
・インフュージョンコントロールドクター認定医	2名
・頸動脈ステント指導医	1名
・超音波指導医・専門医	1名
・日本医師会医療安全推進者養成講座修了者	1名
・日本医師会認定健康スポーツ医	2名
・日本医師会認定産業医	1名
・日本血管外科学会認定血管内治療医	1名
・日本高血圧学会専門医	1名
・日本心臓インターベンション治療学会指導医・名誉専門医	1名
・日本心臓インターベンション治療学会専門医	1名
・日本心臓リハビリテーション学会認定指導士	2名
・日本体育協会認定スポーツドクター	1名
・日本脈管学会認定脈管専門医	1名
・米国心エコー図学会Fellow	1名

・米国心臓病学会Fellow	1名
・麻酔科標榜医	2名

糖尿病内科 3名

・日本糖尿病学会指導医	3名
・日本糖尿病学会専門医	3名
・日本老年病学会指導医	1名
・日本老年病学会専門医	1名
・日本消化器病学会指導医	1名
・日本消化器病学会専門医	1名
・日本内科学会指導医	1名
・日本内科学会総合内科専門医	1名
・日本肝臓学会専門医	1名
・日本医師会認定産業医	1名

人工透析内科 1名

・日本透析医学会指導医	1名
・日本内科学会指導医	1名
・日本循環器学会専門医	1名
・日本医師会認定健康スポーツ医	1名
・日本内科学会臨床研修指導医	1名

消化器外科 2名

・日本外科学会専門医	2名
・日本消化管学会胃腸科指導医	1名
・日本消化管学会胃腸科専門医	1名
・日本消化器外科学会指導医	1名
・日本消化器外科学会専門医	1名
・日本消化器内視鏡学会指導医	1名

・日本消化器内視鏡学会専門医	1名
・日本消化器病学会指導医	1名
・日本消化器病学会専門医	1名

形成外科 1名

・日本形成外科学会専門医	1名
・日本美容医療協会美容レーザー適正認定医	1名
・皮膚腫瘍外科指導専門医	1名

眼科 1名

・日本眼科学会専門医	1名
------------	----

放射線科 3名

・放射線診断専門医	3名
-----------	----

麻酔科 3名(石井智子 岡田修 三浦由紀子)

・心臓血管麻酔専門医	3名
・日本麻酔科学会指導医	3名
・麻酔科標榜医	2名
・日本周術期経食道心エコー認定試験合格	2名

看護師・保健師 314名

外来・入院の病客さまの看護をします。さらに各分野の専門・認定看護師を中心に水準の高い看護が行えるようになっています。

・急性・重症患者看護専門看護師	1名
・集中ケア認定看護師	1名
・感染管理認定看護師	1名

専門職が支える病院

- ・第1種ME技術実力検定合格者 2名
- ・第2種ME技術実力検定合格者 17名
- ・呼吸療法認定士 6名

理学療法士 18名

- ・筋力訓練や歩行訓練など理学療法を実施します。
- ・心臓リハビリテーション指導士 2名
- ・日本糖尿病療養指導士 1名
- ・呼吸療法認定士 2名
- ・認定理学療法士 1名

作業療法士 3名

- ・日常生活（ADL）の改善・維持、認知機能の検査など生活環境を含めた応用的なりハビリを実施します。
- ・心臓リハビリテーション指導士 2名

言語聴覚士 2名

- ・嚥下機能の評価や訓練、食事形態の調整を行います。
- ・ケアマネージャー 1名

視能訓練士 4名

視力や眼圧、視野など視機能検査を行います。

管理栄養士 6名

- ・食事のバランス、カロリー計算などの栄養管理、栄養状態の評価、栄養指導を行います。
- ・病態栄養専門士 1名

- ・静脈経腸栄養管理栄養士 1名
- ・日本糖尿病療養指導士 1名

調理師 17名

- ・食事の提供をします。
- ・日本調理師協会師範 1名
- ・調理技能士 2名

介護福祉士 3名

身体の不自由者の介護をします。

ナースアシスタント 27名

- ・看護師の指示のもと、療養上の世話業務および診療補助にかかわる周辺業務を行います。
- ・医師事務作業補助技能認定 1名
- ・診療報酬請求事務能力認定 1名
- ・秘書技能検定準1級 1名

社会福祉士 7名

- ・社会福祉の立場から、病客さまの医療費や介護保険、退院支援などに関する問題を解決への支援を行います。
- ・ケアマネージャー 3名

診療情報管理士 7名

- ・診療記録・診療情報を適切に管理、運用、保管し、情報活用への支援を行います。
- ・診療報酬請求事務能力認定 1名

事務員 83名

- ・労務や経理に関する業務や診療費の計算・請求、地域の医療機関との連携や物品の購入管理等の病院管理業務を行います。
- ・簿記上級 1名
- ・日本商工会議所簿記検定2級 5名
- ・医療情報技士 3名
- ・医師事務作業補助技能認定 11名
- ・診療報酬請求事務能力認定 19名
- ・医療秘書技能検定準1級 1名
- ・秘書技能検定準1級 2名
- ・図書館司書 2名
- ・ヘルスサイエンス情報専門員（基礎） 1名
- ・電気主任技術者 1名
- ・エネルギー監理員 5名
- ・防災管理点検資格者 1名
- ・防災管理者 3名
- ・医療ガス保安管理技術者講習修了者 2名
- ・危険物取扱者乙種第4類 4名
- ・甲種防火管理者 4名
- ・酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 2名
- ・特定化学物質等作業主任者 3名
- ・特定高圧ガス取扱主任者 3名
- ・防火対象物点検資格者 1名
- ・有機溶剤作業主任者 4名

心臓病センター榊原病院の60年前より顧みて 元医師 小河博之

心臓病センター榊原病院創立85周年をお祝い申し上げます。

1953年にインターンを終えて初めての赴任病院でした。また医師の少なかった当時、心臓の手術に出会ったことは強烈な印象で、医師としての覚悟を持つことになり、以後榊原四兄弟の先生方のご薫陶をいただいたことが以後の私の医師人生に大きく影響を受けております。

戦後数年、サルファ剤、サルヴァルサンは依然使われ、ペニシリン、ストレプトマイシンは高額な新薬でした。エックス線撮影、現像、血液、尿便、血液ガス分析などすべて手作業であつたこと、後年岡山で初めての病院用コンピューターが導入され、三十㎡程の一室を占め、放熱処理の為だけにエアコンが設置されるなどまことに今昔の感を覚えます。

以来40年、先輩の先生方は殆ど鬼籍に入り、剩した後輩の人々にも先立たれた今は無駄なく今後の人生を過ごすべく諸事に努めております。榊原病院のますますの発展と、病院の皆様方のご健康とご活躍を心から願っております。

これまでの85年これからの85年

元医師 小林敏成

心臓病センター榊原病院は創立85周年を迎えられ、同慶の至りです。私は87歳で、心臓病センター榊原病院とほぼ同じ時代を生きています。医師になって60年が経過しました。その年月を振り返ってみると、ほぼ20年毎に区切られます。最初は岡山大学病院での（学び）、その後は川崎医科大学附属川崎病院での（教え）、そして当院での（思い）ながらの医療です。

それらが、敗戦後の潰滅状態社会から、敗戦後の潰滅状態社会

現在の、高価な新薬や治療法、移植・再生医療、デジタル化などで膨れ上がる医療費と超高齢社会で、医療経済、医療制度が揺らいでいます。

心臓病センター榊原病院は創立

からの復興による国民皆医療保険制度の充実、科学・医学の目覚ましい進歩に伴うエビデンス科学的根拠に基づく医療（EBM）、そして病気に基づく病客が語る物語に基づく医療（NBM）の再認識と重なります。

心臓病センター榊原病院の院是です。

心臓病センター榊原病院の院是です。

本の紹介

1 榊原任先生の思い出

本院開設85周年記念日を前に当院に關係する二種の本が出版された。

榊原ハートクラブ編

本院創設者榊原任の弟任がつくった東京女子医大の心研に参集した医師―直弟子・孫弟子―であると自負している―の思い出をまとめたものである。任についても語られており、わが国心臓外科発展に尽した任・任兄弟の一面を識ることが出来るであろう。

2 「タブー」にメスを入れた外科医

榊原 宣著



本院創設者榊原任の伝記である。岡山という一地方都市の民間病院の開業医でありながら、弟任と協力、わが国の心臓外科の扉を開く。一方、現在、会員二万人の日本臨床外科学会を創立する。さらに日本医師会改組を主導、また衆・参両議員として活躍した。何が任の生涯を多様なものにしたか。当院理解の一助になるであろう。改訂第3版として新書版で田畑書店より刊行。

お詫心

4月1日は当院開設85周年記念日になりますので本誌を特別記念号として編集しました。

心臓病センター榊原 病院 85年のあゆみ

- 1932年4月 榊原亨 岡山市内山下90番地に外科榊原病院(60床)を開設
- 1934年4月 榊原亨 日本臨床外科学会設立を発議
- 1935年4月 榊原病院福浜分院(三石分院)開設
- 1936年12月 世界で初めて心外傷を「ガーゼ点絡止血術」で救命。わが国の心臓外科はじまる
- 1937年3月 落合病院開設
- 3月 日本臨床外科学会設立 学会事務を担当
- 4月 榊原亨 阪大小澤凱夫教授との間に心臓外科について論争はじまる
- 12月 日本で初めて狭心症に対して心臓に大網移植術を行う
- 1939年3月 榊原亨 心臓鏡を発明し、世界で初めてヒトの心臓弁の動きを観察、映画に撮影
- 4月 榊原亨 日本外科学会で「心臓鏡ニ就イテ」を発表
- 1941年3月 世界で初めて心臓鏡直视下に僧帽弁閉鎖不全症の手術を行う
- 1943年4月 榊原亨 第44回日本外科学会総会で宿題報告「心臓外科」を発表
- 1945年6月 岡山西空襲により病院焼失、直ちに岡山市北方中井町自宅で診療開始
- 8月 旧病院焼跡にバラックで病院再建、診療開始
- 1947年4月 榊原亨 衆議院議員(岡山二区)に当選
- 8月 榊原亨 新生日本医師会設立委員長に就任
- 1951年5月 榊原亨 榊原任と協力して東京女子医大において日本で初めてポタロ管開存症に対する根治手術に成功。わが国における戦後心臓手術再開 1例目
- 10月 都市計画により現在の県会議事堂付近に病院を新築移転
- 1952年12月 心臓手術再開
- 1953年4月 榊原亨 参議院議員(全国区)に当選
- 1954年1月 わが国初の心臓外科に関する書籍 榊原亨・榊原任共著「心臓外科」刊行
- 9月 県庁舎の建設のため、岡山市丸の内2丁目に新築移転(122床)
- 11月 世界で初めて心臓手術(ポタロ管開存症の手術)NHK実況録音放送を行う
- 1956年2月 山本周(亨の弟) 永眠(享年49歳)
- 1959年9月 心臓カテーテル検査開始
- 10月 人工心肺を用いた開心術 1例目
- 1960年1月 榊原亨 理事長就任
- 1967年4月 循環器内科 開設
- 1969年5月 CCU設置(中国・四国で初)
- 11月 榊原亨 勲三等旭日中綬章を受章
- 1970年3月 心臓ペースメーカー植込手術 1例目
- 6月 人工弁置換術(AVR) 1例目
- 1977年9月 榊原任 永眠(享年68歳)従三位勲二等瑞宝章贈られる
- 1980年2月 東備・赤磐・邑久消防の救急車13台との心電図電送システム完成
- 1982年5月 榊原宏 第2代理事長就任
- 6月 経皮経冠動脈血栓溶解療法(PTCR) 1例目
- 1984年2月 旧岡山城本丸(宇喜多氏)跡地取得
- 5月 岡山ゾンタククラブより心臓病専門の救急車(第1号)寄贈される
- 1985年3月 経皮的冠動脈形成術(PTCA) 1例目
- 1987年6月 創立55周年記念祝賀会(岡山国際ホテル)開催
- 1991年9月 榊原宣 第3代理事長就任
- 1992年1月 榊原亨 永眠(享年92歳)従四位に叙される
- 1月 カテーテルアブレーション 1例目(県内初)
- 4月 心臓リハビリテーション発足
- 6月 診療棟(北館)新築・既存建物改築完成
- 1993年5月 谷口堯院長 日本循環器学会中国四国地方会第62回総会主宰
- 12月 岡山ゾンタククラブより心臓病専門の高規格救急車(第2号)寄贈される
- 1994年2月 榊原宏 永眠(享年76歳)
- 1997年8月 心臓病センター榊原病院雑誌 第1巻発行
- 1998年2月 糖尿病専門外来 開設
- 4月 医療法人社団十全会心臓病センター榊原東病院の開院(54床)
- 6月 大動脈疾患へのステントグラフト留置術 1例目
- 8月 第1回心臓病教室開催
- 10月 病院NOW 第1号発行
- 10月 眼科開設
- 11月 人工透析室 開設
- 1999年4月 榊原亨 生誕100年記念会(ホテルグランヴィア岡山)開催
- 2000年1月 超高速CT東芝CTアキリオンを導入
- 10月 岡山県初 CAROTOシステムの導入(中国・四国・九州地方で第1号)

- 2001年10月 「OSKメディカルフィットネスクラブ榊原」開設。プール開きに木原美知子選手初泳ぎ
- 2002年11月 榊原宣 日本医師会最高優功賞受賞
- 2003年10月 国際交流の環でインドネシア共和国医師2名研修受入れ(3か月)
- 2004年12月 日本第1号の血管造影装置 2台導入
- 12月 心臓病センター榊原病院と榊原東病院統合(247床)
- 2005年2月 MRI供用開始(東芝エクセラートバンテージ15テスラ)
- 3月 右肋間小開胸での心房中隔欠損症手術 1例目
- 3月 岡崎悟院長 第19回中国四国新臨床糖尿病セミナー主宰
- 7月 救急車(高規格車)ハート号増車
- 10月 国際交流の環でポランド共和国医師研修受入れ(3か月)
- 12月 右肋間小開胸での僧帽弁手術 1例目
- 2006年2月 64マルチスライスCT導入(アキリオン64)
- 12月 心臓手術開始70周年記念講演会 演者・北村惣一郎国立循環器病センター総長 演題「循環器医療の現状と未来医療」(さん太ホール)
- 2007年1月 心臓病センター榊原病院と三友会いしま病院と提携経営統合(297床)
- 1月 岡山県より特別医療法人の認可。特定・特別医療法人社団十全会心臓病センター榊原病院となる
- 3月 心臓病センター榊原病院創設75周年 入院死諸霊慰霊法要
- 前夜祭 中村紘子ピアノリサイタル(岡山シンフォニーホール聴衆2000名)
- 4月 心臓病センター榊原病院創設75周年記念感謝パーティー(ホテルグランヴィア岡山)、祝賀パーティー(岡山プラザホテル)
- 5月 日本初の右肋間小開胸での大動脈弁置換術に成功 1例目
- 5月 腹部大動脈瘤ステントグラフト治療開始
- 5月 岡山県初 Zenith AAAエンドバスキュラーグラフトを用いたの腹部大動脈瘤に対するステントグラフト留置術 1例目
- 10月 地域医療支援病院認可
- 2008年1月 榊原宣 第66回山陽新聞賞受賞
- 3月 三友会いしま病院を経営統合
- 4月 320列マルチスライスCT導入(日本の臨床医療機関で初導入)
- 2009年4月 超音波装置最新鋭の循環器用超音波装置ARTIDAを導入(中国・四国初)
- 4月 DPC開始
- 11月 岡崎悟院長 日本糖尿病学会中国四国地方会第47回総会主宰
- 11月 胸部大動脈瘤ステントグラフト 1例目
- 2010年11月 日本初の動脈弁と僧帽弁の2弁右肋間小開胸での手術 1例目
- 12月 クラボウ岡山工場跡地に新病院建設着工
- 2011年1月 下肢静脈瘤血管内レーザー焼灼術(EVLT) 1例目
- 5月 不整脈治療におけるカルト3システム導入
- 5月 第1回市民公開心臓病教室
- 12月 清水一紀内科部長 日本先進糖尿病治療研究会第12回総会主宰
- 2012年2月 救急車(高規格車)シンゾウくん増車
- 3月 エキシメラザーによる冠動脈形成術開始
- 4月 不整脈専門医研修施設・心臓血管麻酔専門医認定施設認定
- 5月 エキシメラザー冠動脈形成術(ELCA)治療 1例目
- 5月 第2回市民公開心臓病教室
- 5月 榊原敬 第4代理事長就任
- 9月 岡山市北区中井町に新築移転 新病院開院(297床)
- 10月 条件付きMRI対応ペースメーカー導入
- 11月 事業所内保育施設 たんぼぼ保育園開園
- 12月 第3回市民公開心臓病教室
- 経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI) 1例目
- 2014年4月 糖尿病センター開設
- 5月 第4回市民公開心臓病教室
- 5月 第5回市民公開心臓病教室
- 2015年5月 第6回市民公開心臓病教室
- 8月 吉鷹秀範上席副院長 日本血管外科学会中国四国地方会第47回総会主宰
- 11月 清水一紀内科部長 日本糖尿病妊娠学会第32回総会主宰
- 2017年4月 開設85周年を迎える



新築移転 1951年



亨を囲んで(背景に手術室廃墟) 1945年



心臓鏡を用いての手術第1例 1941年



心臓鏡 1939年



病院玄関 1938年



開院当初 1933年



TAVI 1例目 2013年



新病院 2012年



移転前病院(丸の内) 2011年



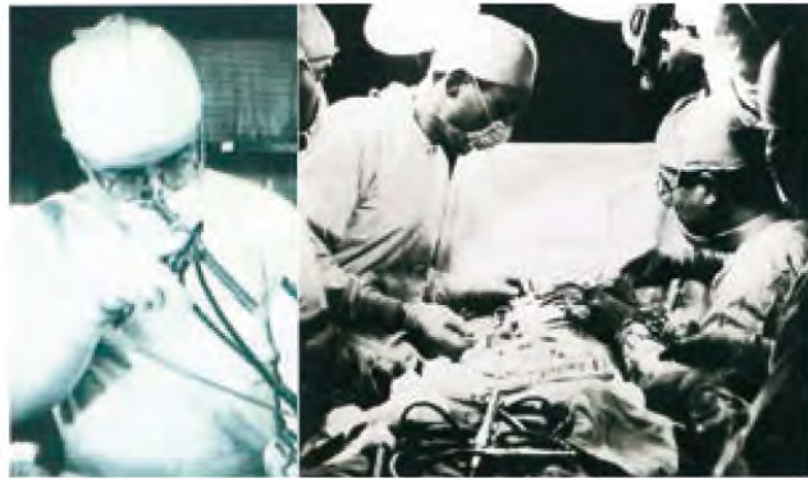
本館と別館 2007年



榊原東病院 2004年



病院全景 1992年



1936年頃



1956年頃



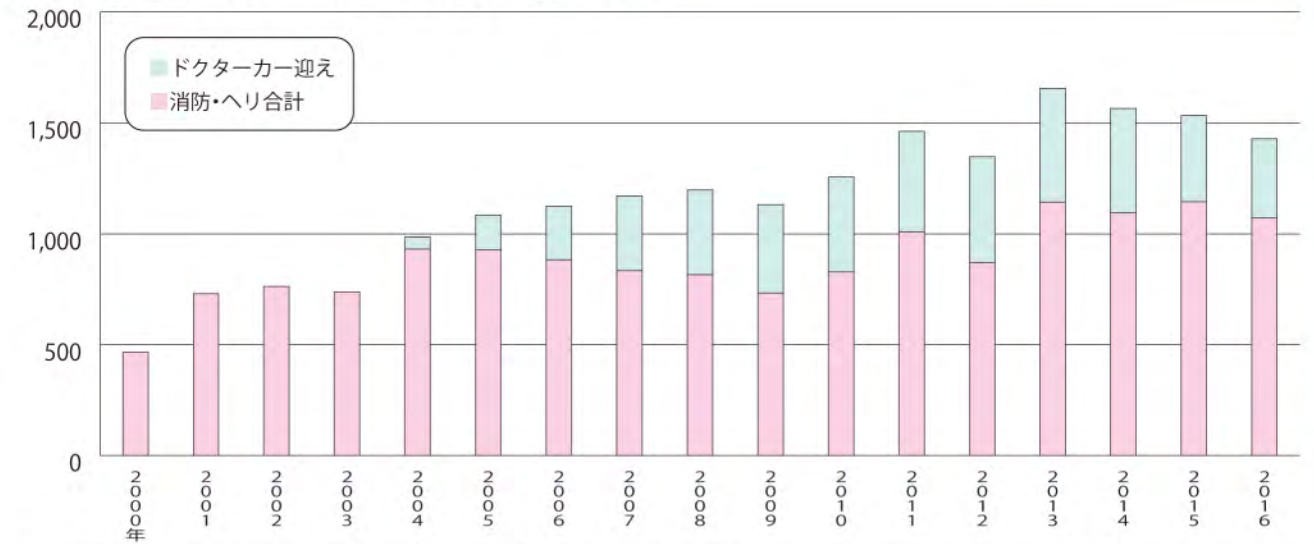
1992年頃



2012年ハイブリッド手術室(現在)

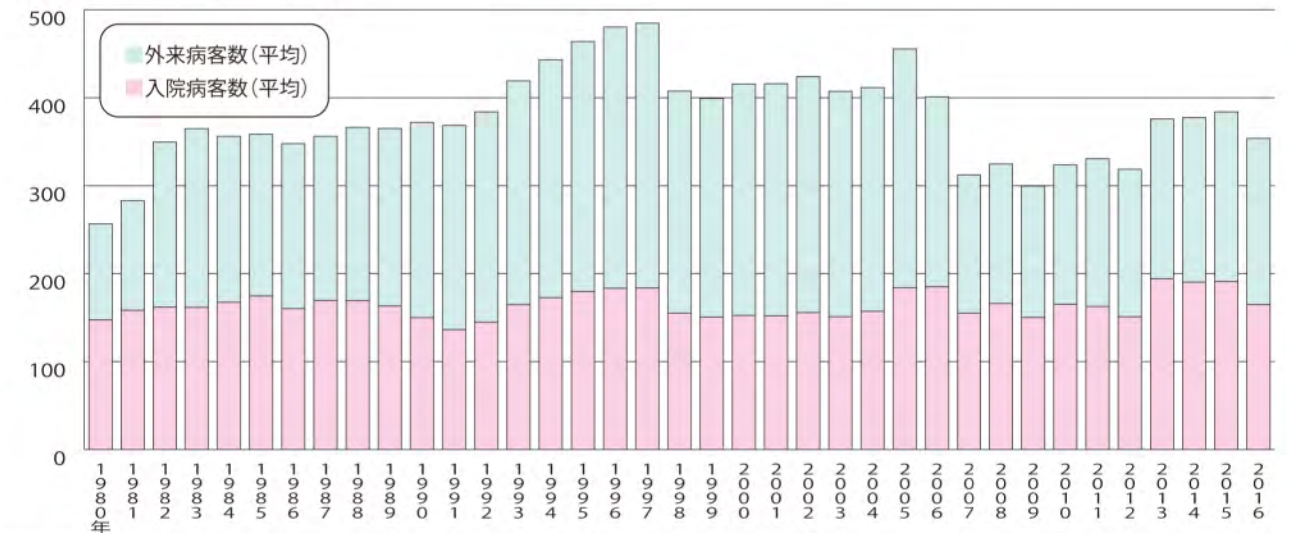
手術室 むかしといま

救急車など受入とドクターカー出動数(迎えのみ)



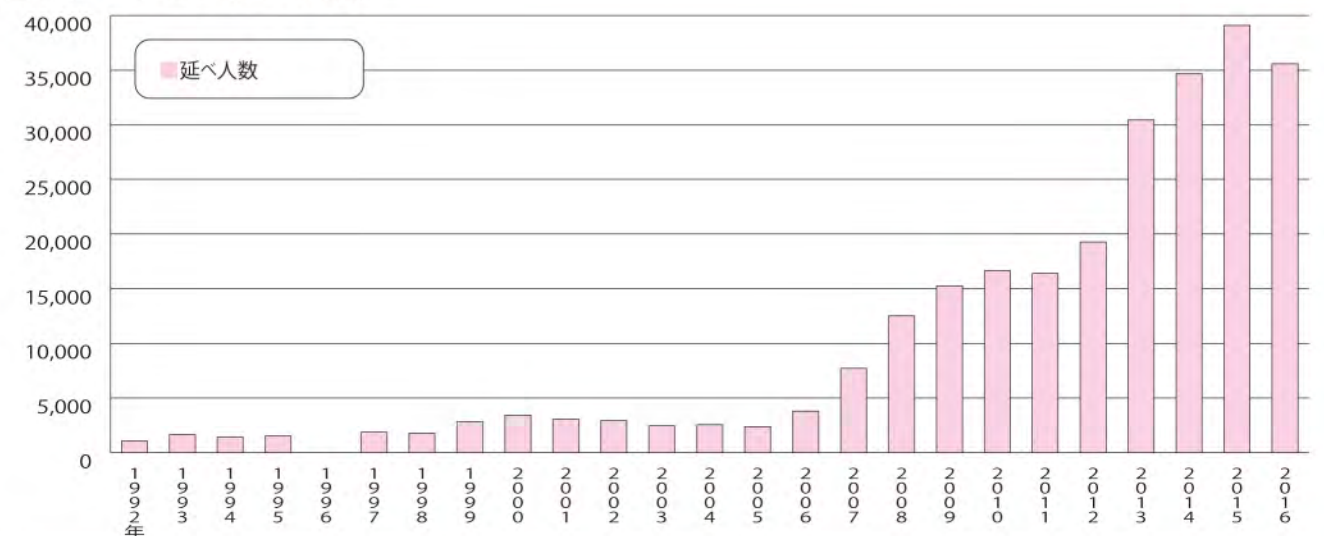
ドクターカー迎え					54	158	241	337	381	398	428	454	478	513	470	388	357
消防・ヘリ合計	466	730	763	738	931	927	884	834	816	734	828	1008	869	1143	1095	1145	1071

入院・外来病客数(1日平均)



外来病客数(平均)	109.2	124.5	187.5	203.1	188.7	183.7	187.5	186.5	197	201.8	222.1	232.1	239	254.3	270.3	284.3	297	300.9	252.3	248.5	262.7	264	268.2	256	254.5	271.4	421.5	157.1	158.6	149.3	158.6	167.9	167.7	181.7	187	192.8	188.8
入院病客数(平均)	147.5	158.5	162	161.7	167.5	174.7	160.2	169.6	169.3	163.2	149.9	136.4	145	164.8	172.8	179.7	183.3	183.8	155.2	150.7	152.7	152	155.8	151.2	157.1	184	185.2	155.2	166.1	150.3	165.1	162.8	151	194.3	190.4	191.2	165

リハビリテーション延べ人数



延べ人数	1,067	1,652	1,419	1,526	0	1,869	1,795	2,838	3,435	3,077	2,931	2,459	2,557	2,395	3,805	7,709	12,512	15,247	16,646	16,386	19,263	30,456	34,694	39,090	35,591
------	-------	-------	-------	-------	---	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

心臓手術はどこまで進歩したか 心臓と大動脈

心臓・大動脈疾患に対する外科治療は日進月歩で進化しており、待機手術においては現在98%以上の病客さまが術後元気に退院され、通常の生活に復帰できる時代となりました。手術成績の向上には手術手技の進歩のみならず、心臓・大動脈手術に不可欠な人工心肺装置、人工弁並びに人工血管など最先端の医療工学技術の発展が大きく寄与しています。



我が国における心臓血管外科手術の幕開けは、1936年12月16日当院創設者の故榊原亨により施行された心臓外傷に対するガーゼ点絡止血術に端を発するといわれています。その20年後には人工心肺装置の我が国への導入に伴い、心臓・胸部大動脈手術が極めて標準的な治療法として着実に進化・発展する礎が築かれ、今日までにさまざまな手術方法が開発されてきました。

また、近年日本においては高齢化社会が急速に進行しており、これまで心臓疾患や大動脈疾患への手術適応が困難と思われていた超高齢者に対しても手術の低侵襲化に伴い、安全に手術が施行できる時代となりました。医療工学技術の発展により、人工心肺装置を使用した体外循環の安全性確立に加え、さまざまなテクノロジー導入に伴い心臓・大動脈手術方法自体も近年大きな変革を遂げてまいりました。その代表として大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁



心臓血管外科院長補佐 近沢元太

また通常の人工心肺を使用する心臓手術においても胸の真ん中に位置する肋骨を切らずに肋骨と肋骨の間を数センチ程度切開し、内視鏡を用いて弁膜症手術を行う小切開手術(通

置換術(TAVI)や大動脈瘤に対するステントグラフト治療(TEVAR・EVAR)があげられます。いずれも折り畳んだ人工臓器(人工弁・人工血管)を収納したカテーテルを太ももの付け根の動脈から入れて目的の場所まで誘導し、カテーテルから人工血管を押し出して広げることにより治療を行う方法です。最近では人工臓器を収納するカテーテルもどんどん細くなり、皮膚を切開せずに動脈内にカテーテルを入れて安全に治療を行うことが可能になってい

称・ミックス手術)を日本で先駆けて導入し、現在では国内最多の年間手術総数となっております。本年4月1日当院は開設85周年を迎えました。わが国の心臓外科の扉を開いた心臓外傷に対する止血手術成功以来これまで2万人を超える病客さまに対して心臓血管外科手術を施行してまいりました。安全で質の高い医療をより多くの病客さまに提供できるよう、私共は更に研鑽と研究をすすめてまいりたいと考えております。

シリーズ 心筋梗塞で死なないために

搬送先が生死を分ける

急性心筋梗塞は、心臓を栄養している血管(冠動脈)が急に詰まる致死的な病気です。心臓が止まったり破裂したりして突然命を失う怖い病気の代表で、2010年の調査では、病院到着できなかった方を含めると5人に1人が亡くなっており、最近10年間では、特に40歳前後の若い方や、80歳以上の男性の発症が増えています。このコラムでは「心筋梗塞で死なないために」と題して、数回にわたって心筋梗塞の治療について取り上げます。

さて、心筋梗塞を発症した時に、救命できるかどうか最も大事なことは「時間」だといわれています。一刻も早く専門病院に到着して、詰まった血管の血流をできるだけ早く再開させる事が何よりも大切であり、心臓のダメージ、後遺症を少なくするため、病院到着から90分以内に血流を再開することが一つの目標となっています。保険診療制度も2014年から変更になり、治療開始までに時間がかかる(90分以上かかる)病院には支払い額が減額されるようになり、全国の医療機関で、

病院到着から1分1秒でも早く血流再開を行うべく不断の努力をされています。

当院の特徴の1つは、夜間でも循環器内科医師が常時2名、心臓血管外科医が常時1名当直し、緊急事態に備えた診療体制をとっていることです。多くの総合病院では、夜間に心筋梗塞の治療をする時、自宅待機している循環器内科医師を呼び出さなければカテーテル治療ができませんが、当院は院内にいる医師のみで、待ち時間なしで治療が可能です。当院では非常に多くの急性心筋梗塞の方を受け入れており、2016年は185例に緊急カテーテル手術を行いました。その8割9割の方には来院後90分以内に血流再開できしており、時間にすると平均で1時間以内、最短は何と15分!と、専門病院ならではの迅速さで対応しています(ご家族と連絡が取れない場合などは残念ながら治療開始が遅れてしまいます)。

「時間」の次に大事なものは、「専門スタッフ」です。当院は心臓病の専門病

循環器内科 医長 吉岡 亮

院で、全国トップクラスの経験症例数と技術を持った心臓血管外科との連携が常時可能です。重症の心筋梗塞であれば、緊急手術が必要になることがしばしばあり、循環器内科医だけで救命できない場合、心臓血管外科のある病院に搬送していたのでは間に合いません。最近あった一例を挙げると、60代の男性が、心筋梗塞で当院救急外来に深夜に救急搬送されましたが、来院時の血圧は60mmHg台とショック状態で、意識状態も落ち込んでおり、危険な状態でした。緊急で冠動脈造影検査を行ったところ、3本ある冠動脈すべてに病変があり、そのうち最も大切な2本が詰まっていました。年齢や全身の状態を考えると、緊急で心臓血管外科によるバイパス手術が必要でした。一時は心臓が止まりかけるほどの危険な状態で、当直の心臓血管外科医に連絡し、1時間弱で手術を開始することができました。手術を行った後は劇的に状態が改善され、2週間後歩いてお元気に退院されましたが、搬送時

はとても移送などできる状態ではな



救急業務法制化50周年記念切手

く、心臓血管外科のある当院に搬送されたことが生死を分けたといえます。心筋梗塞に限りませんが、致命的な病客さまを瀬戸際で救命するには、その病院のもつ最大の総合力が要求されます。当院では医師だけでなく、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床工学士、理学療法士などから、事務に至るまで、経験豊富な専門スタッフが丸ごとになって対応しています。

いかがでしょうか?「一刻も早く血流を再開させられる病院」「重症者の緊急手術ができる病院」で治療を受けていただくことが、「心筋梗塞で死なない」ためには重要なのです。

※次回は、心筋梗塞の高度専門治療(エキシマレーザーなど)を取り上げます。

院内教室のご案内

健康について一緒に考えてみましょう
ご家族の方もぜひご参加ください

〔会場〕診療棟 2階大ホール

	4月	5月	6月
健康教室〔14時～〕 医師、管理栄養士、保健師、理学療法士が食事や日常生活、運動などについてお話しします			
脂質異常症と食生活	3・17(月)	1・15・29(月)	12・26(月)
心不全予防のポイント	4・18(火)	2・16・30(火)	13・27(火)
しなやかな血管を保つために～減塩が必要なわけ～	5・19(水)	17・31(水)	14・28(水)
知って得する医療費と介護保険の話	6・20(木)	18(木)	1・15・29(木)
簡単！心肺蘇生法とAEDの使い方	7(金)	—	2・30(金)
狭心症・心筋梗塞の危険因子とは	10・24(月)	8・22(月)	5・19(月)
見直そう食生活 病院食のコツ	11・25(火)	9・23(火)	6・20(火)
心臓リハビリテーションとは	12・26(水)	10・24(水)	7・21(水)
減塩食のコツ	13・27(木)	11・25(木)	8・22(木)
意外と知らない高血圧のホント～正しい血圧の測り方～	21(金)	19(金)	16(金)

糖尿病教室〔15時～〕 糖尿病に関わる専門の医師・スタッフが、お話しします			
糖尿病と合併症	3・17(月)	1・15・29(月)	12・26(月)
お答えします あなたの疑問	4・11・18・25(火)	2・9・16・23・30(火)	6・13・20・27(火)
薬とインスリン	5・19(水)	17・31(水)	14・28(水)
検査について	6・20(木)	18(木)	1・15・29(木)
食事について	7・14・21・28(金)	12・19・26(金)	2・9・16・23・30(金)
運動について	10・24(月)	8・22(月)	5・19(月)
低血糖とシックデイ(体調が悪い時の対応)	12・26(水)	10・24(水)	7・21(水)
足のトラブルと手入れ	13・27(木)	11・25(木)	8・22(木)

ワーファリン教室〔14時～〕 薬剤師、保健師がワーファリン内服時の注意点などをお話しします			
	14・28(金)	12・26(金)	9・23(金)

※日程を変更することがありますので、院内掲示でご確認ください。参加は無料です。
ただし、医師の指示による管理栄養士の教室のみ栄養指導料(保険適用：80円～250円)が必要です。

健康教室
糖尿病教室
ワーファリン教室
で学べること

当院では月曜から金曜まで健康教室を開催しており、薬剤師はそのうち糖尿病教室とワーファリン教室を担当します。糖尿病教室では、糖尿病の飲み薬や注射薬の作用や副作用、注意事項について説明しています。病客さまからの疑問や相談にお応えする企画もあります。ワーファリン教室は、ワーファリンの作用や日常生活での注意事項、食べ物との関係(飲み合わせ)についてお話しします。専門冊子を配布(無料)し、保健師とともに治療や日常の注意点のご理解を深めていただくことを目的としています。皆さまの相談にお応えする身近な存在としてお役に立ちたいと思っています。薬に対する疑問点がございましたらお気軽に薬剤師にお声掛けください。

第7回 心臓治療最前線 2017 護ります あなたの心臓

市民公開心臓病教室

20分でわかる心臓病のはなし

日時 **5月27日(土)** 14:00～15:40
開場/13:30

会場 **イオンモール岡山5F おかやま未来ホール**
岡山市北区下石井1丁目2番1号

主催 市民公開心臓病教室実行委員会・心臓病センター榊原病院

講演 **それは突然やってくる!**

～心筋梗塞について～

講師 **西田 剛** 心臓病センター榊原病院 循環器内科 医長

心筋梗塞の運動療法

講師 **北条 悠** 心臓病センター榊原病院 リハビリテーション室

心臓手術は怖いですか?

～低侵襲心臓手術があります～

講師 **都津川敏範** 心臓病センター榊原病院 心臓血管外科 部長

司会 **吉鷹 秀範** 心臓病センター榊原病院 心臓血管外科 上席副院長

山本 桂三 心臓病センター榊原病院 循環器内科 副院長

入場無料

聴講券が必要です
(お一人様1枚まで)

お申込方法 ①～②のいずれかの方法でお申込下さい

①ハガキで

・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、下記まで郵送

【宛先】〒700-0804 岡山市北区中井町2丁目5-1
心臓病センター榊原病院内「市民公開心臓病教室」事務局

定員 **600名**になり次第締切

申込締切 **5月12日(金)** ※5月15日以降に聴講券をお送りします

問合せ先 **086-225-7111**

②心臓病センター榊原病院でも

申込用紙に記入、申込箱に投函

申込場所 ・2階受付
・1階エントランスホール 休憩スペース

お申し込みはお早めに!

※お申込いただいた個人情報、聴講券の送付以外には使用いたしません。なお、個人情報は心臓病センター榊原病院が責任を持って管理いたします。



ご意見 聞かせてください

ご意見箱 設置場所

- ・受付前 診療棟 2階
- ・デイルーム 診療棟 6階、7階

沢山「ご意見ありがとうございます。貴重なご意見にいただきましたが、病室さまにより適切な対応をよりよい病院を目指して努力してまいります。スペースの関係でいただいた趣旨を変えない範囲で簡略化するご容赦をお願いいたします。今後とも貴重なご意見いただきありがとうございます。よろしくお願いします。」

ご意見

トイレにオムツの替えができるチャイルドシートが欲しいです。授乳室も一部屋で良いので欲しいです。

【お返事】ご不便をおかけし申し訳ございません。設置を検討いたします。それまでは看護師にお申し付けください。

ご意見

当番医の予定を予告なしに変えないで

ください。一か月前に今月はこれ、来月から（このように）変更になると2種類の予定表を掲示してください。一か月後に先生がいると思いい、仕事を休んで遠くから来ています。診察でいなければ困ります。

【お返事】申し訳ございません。医師の外来診察予定は、当月末に翌月の外来診療担当表を所定の場所に掲示しています。ホームページは毎月月末に更新しています。急な変更がある場合があります。当日のホームページで外来診察医師をご確認してください。お電話でも確認ができます。

ご意見

この度は、救急車にお世話になりました。先生には高度な技術で適切な処置を行っていただきお陰さまで高齢にもかかわらず新たな命をいただき感謝申し上げます。先生はじめ看護師やリハビリ担当の方々の手厚い看護の賜物と厚くお礼申し上げます。色々ご指導いただいた事を守り自ら今後の生活に活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。

【お返事】どうぞお身体をお大事になさってください。

ご意見

今回で5回目の入院で新病院は初めてです。病院食が今までと比べて格段に

良くなったと思います。病院食はまずいという仮説をくつがえし、味付け、見栄え、食器、献立すべてに真心がこもっており、病院食としては他の病院に比べてダントツだと思います。好き嫌いの多いまた低料金の中の献身的なスタッフの皆さんのご努力、ご苦勞、心から感謝申し上げます。これからも頑張ってください。

【お返事】励ましとお褒めのお言葉を頂戴し感謝します。今後も病室さまに喜んでいただける料理を提供してまいります。

ご意見

①入院して感じた事は、きれいな病院、先生方をはじめ看護師さんの親切な対応と態度が私は嬉しく思いました。嬉しくて笑顔が癒されました。本当にありがとうございました。

②食事は味付けがとても上手で美味しかったです。勉強になりました。

③洗髪については、美容院にあるような洗面台があればと思いました。背が低い方にとって少し無理な感じを受けました。大変お世話になりました。

【お返事】①お褒めのお言葉を頂戴しありがとうございます。これからも安心と安全に努力を重ね、病室さまに一層ご満足していただける病院を目指してまいります。

療法とも5位以内にランクされたのは当院だけであった。

▽週刊朝日MOOK

手術数でわかるいい病院²⁰¹⁶ (17年3月15日発行)

557病院を対象とした全国ランキングが発表された。当院の2015年の心臓手術総数は584件で全国第5位また、心臓カテーテル治療数は119件で全国第5位であった。

病院選びの注意点として、治療内容について内科・外科双方から話を聞けるか、24時間365日態勢を掲げ実行するかなどが挙げられている。

また、ランキングで見ると15年の変遷で「心臓手術いい病院」を2003、2009、2016年で見ている。3回とも10選の中に入っているのは当院をはじめ榊原記念、国立循環器病研究センター、小倉記念の各病院であった。

▽看護の日

5月12日は看護の日。当院でも毎年一般の方々や学生の方々に看護の心を理解していただくことを目的に「ふれあい看護体験」を実施しています。皆さまのご参加をお待ちしています。

ご覧になりましたか

「大動脈弁狭窄症」は心臓の左心室出口にある大動脈弁が徐々に硬くなって開きにくくなり、全身に血液を十分送り出せなくなる疾患で、老化に伴う動脈硬化症が原因で起こる。狭窄症はゆっくりと進行するが、狭心症や心不全、失神などの症状が現れた段階から急激に状態が悪くなり、2年生存率は約50%。早期発見、適切な段階での治療が大切という。

TAVIは2013年12月から導入し岡山県内では当院を含む2施設しか行っていない新しい治療法。当院では大動脈弁狭窄症の手術を毎年約120例実施しているが、そのうちTAVIが約半数を占める。2016年12月から局所麻酔下でのTAVIも始めた。現在、TAVI死亡率はゼロで、さらなる技術の向上をさせたいと述べている。

▽山陽新聞メディアカ

(17年2月6日発行)

吉鷹秀範心臓血管外科上席副院長が「名医に聞くTAVI(経カテーテル大動脈弁置換術)」と題して、大動脈弁狭窄症の症状説明から治療法(第一選択の外科手術、ハイリスクの病室さまに適用するTAVI)について述べている。

▽病院の実力

読売新聞社2017総合編 (17年2月19日発行)

「信頼できる病院を選ぶために知っておきたいデータ」として検討されたもので、病院選びの指標となるという。大人の心臓病に関して、当院は心臓・胸部大血管手術数が552件で全国第4位、心臓カテーテル治療数が119件で全国第5位であることが報告されている。

▽週刊朝日

(17年3月10日号)

5大がん・心臓病・脳卒中・脳疾患の「いい病院」全国ランキング最新トップ40が発表された。心臓病分野では、2015年1年間の心臓手術と心臓カテーテル治療の総数で、内訳として冠動脈バイパス術(内カテーテル)、複合冠動脈バイパス術(フロンツ)、複合冠動脈バイパス術(フロンツ)、腹部大動脈瘤、心不全外科治療、TEVAR(ステントグラフト内挿術)、先天性心疾患、TAVI(経カテーテル的大動脈弁置換術)、急性冠症候群の緊急治療の手術症例数を記している。発表されたランキングによれば、当院は心臓手術数584例で全国5位、心臓カテーテル治療数119例で5位。両

お知らせ

昔の写真



1942年 開設10周年記念写真



1935年頃 病室より旭川を望む

②四季の味を生かし喜んでいただく料理をお出ししてまいります。③ご不便をおかけして申し訳ありません。洗髪での使用の際は十分配慮してまいります。

ご意見

11月16日10時頃、駐車場に入り歩いていると、ものすごい勢いで入ってくる車がありました。たしか病院の出入り業者とおぼしき看板を付けていました。女性でしたが全く非常識です。業者への指導はいかがなされていますか？

ご意見

【お返事】たいへん申し訳ありません。駐車場周辺の道路標識は、速度制限「8km」、横断歩道手前「止まれ」を標示しています。設置している横断歩道が不明確でしたので、つきり再標示します。なお、業者には注意してまいります。

ご意見

部屋の壁が防音になっていないため、隣室の音声などが聞こえて困る。【お返事】ご迷惑をおかけしました。建築基準法による遮音の設計となっております。通常の会話での音に関しては、隣室に音は聞こえませんが、大きな音量では音が漏れることがあります。お隣の音が気になるようであれば看護師にお申し付けください。